

日本海・太平洋2面活用型国土の“要”

三大都市圏との連携とユーラシアへのゲートウェイ機能の強化を図り、国土全体の災害リスクに対応した多重性・代替性を担うとともに、日本海側の対流拠点圏域の形成を目指す。

重層的かつ強靱な「コンパクト+ネットワーク」の形成

○小さな拠点の形成

【ふるさと茶屋の取組(福井県)】

- 空家や既存施設を有効活用し、住民が寄りあう場所や地元の農産物の販売を行う拠点を整備



高浜町が地域活性化の拠点として整備する古民家「観自庵」の母屋(左)と離れ=高浜町高野で

【出典】中日新聞CHUNICHI Web

○コンパクトシティの形成

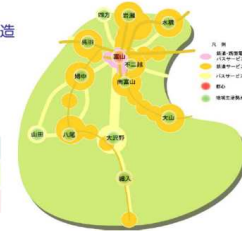
【コンパクトなまちづくり(富山市)】

- 鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現

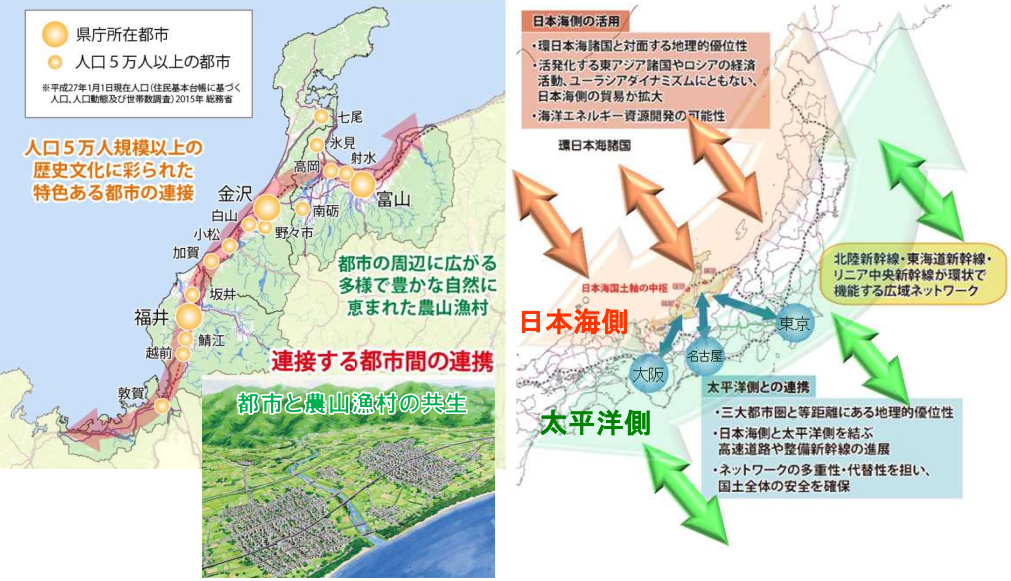
富山市が目指すお団子と串の都市構造
 串 一定水準以上のサービスレベルの公共交通
 お団子: 串で結ばれた徒歩圏

＜実現するための3本柱＞

- ①公共交通の活性化
- ②公共交通沿線地区への居住促進
- ③中心市街地の活性化



北陸における接続型都市形成イメージ ■日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引

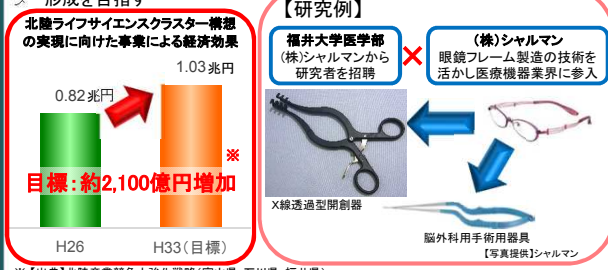


競争力のある産業の育成と日本海中枢圏域の形成

○医薬、繊維等の地域産業を牽引する産業クラスターの形成

【北陸ライフサイエンスクラスター構想】

富山・石川・福井の3県が、ライフサイエンス分野で産学官金37団体と連携し、バイオ医薬品、機能性食品の開発、漢方の産業化、医療機器等のクラスター形成を目指す

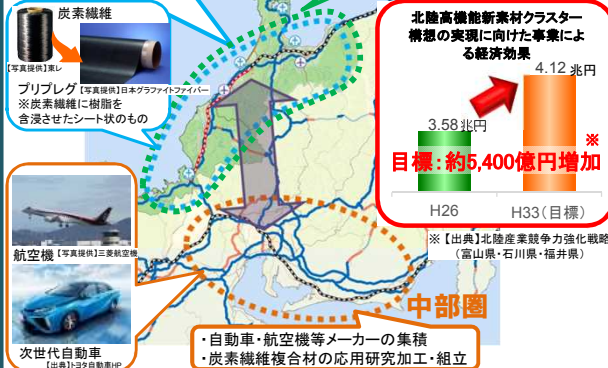


【東海・北陸連携コンポジットハイウェイ構想】

金沢工業大、名古屋大、岐阜大等が連携し、炭素繊維複合材料に関する研究開発から生産・加工・組立までを行う世界的な一大拠点を狙う。

【北陸高機能新素材クラスター構想】

繊維産業・新素材産業の技術蓄積
 ・炭素繊維複合材料の研究開発・生産
 ・炭素繊維複合材料、ナノテク材料、マグネシウム・チタン等の軽金属材料等の生産・加工地域を形成



高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成

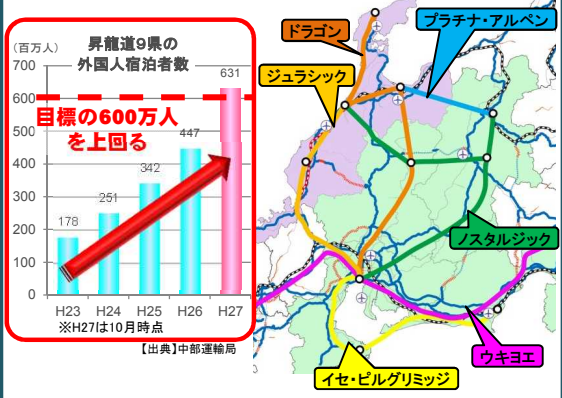
○広域観光ルートの構築

テーマ性・ストーリー性を有する魅力ある観光地域のネットワーク化による広域観光ルートを形成する。



▼「昇龍道」の6つの重点ルート

日本の歴史や伝統文化を味わえる北陸中部の周遊プランを外国人観光客に知ってもらうため、中部広域観光推進協議会が策定した6つの重点ルート。それぞれ2~4泊で回ることを想定し、海外の旅行会社に提案



新しい北陸圏の実現に向けた目標

1. 個性ある北陸圏の創生
~更なる安全・安心、環境豊かな暮らしの充実、コンパクト+ネットワーク~
2. 競争力のある産業の育成
~北陸のものづくり産業や農林水産業の一層の活性化~
3. 日本海側の中枢圏域の形成
~日本海沿岸地域との連携強化と太平洋側との連携強化~
4. 対流・交流人口の創出
~北陸の魅力を活かした国内外との対流・交流の創出~